

(3) 華中・華南地域

1161

昭和20年8月18日

在厦門永岩(弥生)総領事より
重光外務大臣宛(電報)

厦門における治安状況及び在留邦人への措置
につき報告

厦門 8月18日午後3時00分発
本省 9月7日午後6時00分着

第一七〇號(大至急)

一、當地ノ治安民狀ハ現在ノ處平靜ヲ保チ居ルモ物價ノ急騰
商品賣惜ミ團體商社等ノ中國人使用人ノ怠業等ノ傾向漸
次顯著トナリツツアリ當館ニ於テハ海軍ト緊密ニ連絡シ
特ニ邦人ノ輕舉妄動不祥事態ノ發生ヲ嚴ニ警戒シツツ今
後ノ現地折衝ノ圓滑遂行ヲ期シ居リ

二、定着ヲ原則トスル御方針ハ充分在留民側ニ徹底セシメ置
キタルモ當地ノ特殊事情ニ鑑ミ今後一般邦人ノ生計及事
業繼續ハ殆ト不可能ト思料セラルルニ付老幼婦女子其ノ
他引揚希望者ハ成ルヘク速ニ内地又ハ臺灣ニ送還シ得ル
様中央ニ於テモ御高配ヲ煩度尙右ニ關シ何分ノ御方針御

指示ヲ請フ

三、當地ノ發電事業ニ鑑ミ遠カラス通信杜絶ヲ豫想セラルル
ニ付邦人竝ニ中國側要人、日系職員ノ安全保護ニ付今後
ノ折衝上心得置クヘキ事項至急御指示ヲ請フ

支那側軍隊入市直後起ルコト有ルヘキ不慮ノ事態ニ備フ
ル爲館員家族及在留民中老幼婦女子中希望者ハ成ルヘク
早日ニ二ヶ所(鼓浪嶼官邸及博慶會分院)ニ集結セシムル
豫定

四、市長其ノ他市政府要員ノ身柄保護ニ付テハ中央ニ於テ考
慮相成リ居ルコトト存セラルル處接收後ニ於ケル支那側
取扱振ニ付一同等シク憂慮シ居ル次第ニ付御如才無キコ
トトハ存セラルルモ民生ノ福利増進其ノ他市政ニ對スル
從來ノ功績ニ鑑ミ出來得ル限り保護方御高配相煩度
支へ轉電セリ

1162

昭和20年8月19日

在厦門永岩総領事より
重光外務大臣宛(電報)

厦門地区接收後における在留邦人保護に関する
中国側代表者との会談について

廈門 8月19日後3時00分發
本省 9月7日後6時00分着

第一七一號(緊急)

十八日本官當地司令官ノ諒解ノ下ニ館員ヲ敵地高嶼ニ派遣シ在留民ノ生命財産保護方ニ關シ新廈門市長ト懇談致度旨ヲ傳達セシメタル處中國側ニ於テハ中米合作處閩南地區指揮官附參謀大佐高昭明ヲ館員ニ同行セシメ本官ヲ來訪セルニ付本官ハ別ニ本省ヨリ訓令アリタル次第ニアラサルモ非公式ニ意見ノ交換ヲ行ヒ接收後ニ於ケル治安狀態殊ニ在留邦人ノ保護ニ付萬全ヲ期シ度キ趣旨ナル旨説明シ懇談セリ同人ノ談話要旨左ノ如シ

一、中國側ハ一日モ早く廈門金門ヲ接收致度キ希望ニシテ正式折衝ハ上司ヨリノ命アル迄ハ不可能ナラハ豫備折衝トシテ双方ノ意見交換ヲ爲シ度キモノナリ(此ノ程度ナラハ當地軍側諒解ノ下ニ差支無キモノト思考セラルル處爲念御回示ヲ請フ)

二、在留邦人ノ保護ニ關シテハ全責任ヲ負フヘシ(接收後ハ交代シ此ノ責ニ任スヘキモノナルコトヲ仄カセリ)

三、接收後短期間中ハ軍政ヲ布キ然ル後ニ市政府ヲ組織セシ

ムルモノナリ

四、廈門ノ治安ハ日本海軍及市政府ノ努力ニ依リ極メテ良好ニシテ經濟措置ニ付テハ掠奪暴行無キ様申入レタルニ對シ嚴重ニ右事件發生無キ様措置スヘキ旨回答アリタリ尙同大佐ノ希望ニ基キ海軍側トノ會見ヲ斡旋シ置キタリ又同人ノ言ニ依レハ支那ハ概ネ米國ノ勢力範圍内ニ置カレ英國ハ殆ト實權無キコト及米英間ノ感情ハ意外ニ險惡ニシテ米ノ英ニ對スル反感大ナルモノアルヲ洩ラセリ

1163

昭和20年8月20日

在上海土田公使より
重光大東亞大臣宛(電報)

上海の状況及び重慶側の行動につき報告

上海 8月20日發
本省 8月20日着

第一二七九號(至急)

現在迄ニ判明セル上海中國側狀況左ノ通

一、周佛海ハ重慶ヨリ軍事委員會上海行動總隊司令ニ羅君強ハ其ノ副司令ニ任命セラレレ市政府及警察、保安隊、稅警隊保甲等ノ力ヲ集メ治安維持ニ當ルコトニナリタル由

二、市政府ハ引繼迄暫時從來通り執務スルコトトナリ日本側職員モ市議專員等トシテ殘留シ居レリ(以上二、三、ハ渡參事官報告)

三、重慶ノ治安維持ニ對スル命令ハ陳公博、周佛海、羅君強、任援道、丁默邨ノ五名ニ令セラレタル由

四、市中ハ一般ニ平穩、對日本人空氣ハ蔣介石ノ日本人保護ノ放送通電等モアリ且下ノ處良好、治安ハ日本軍ニ依リ維持セラレアリ市側モ之ニ協力シ居レリ

五、重慶側各地下の機關ハ漸次表面ニ現ハレ來リ活潑ニ接收準備行動ヲ起シ居レリ、内特ニ目立ち居ルハ

(イ)吳紹澍關係ノ上海市黨部上海政治特派員公署、三民主義青年團上海市團部

(ロ)何民魂ノ軍事委員會宣傳委員會關係

(ハ)戴笠ノ忠救軍關係

(ニ)何世楨ノ軍事委員會關係

(ホ)軍事委員會上海代表トシテノ蔣伯誠關係等ニテ各派ト

モ争ヒテ新聞言論機關等ノ接收ヲ始メツツアリ(何民

魂一派ノ華新日報戴笠一派ノ文匯報)

六、以上ノ通重慶側ハ各派別々ニ行動シ居リ當方ニモ夫々私

的連絡ヲ爲シ居ル處未タ統一アル動キヲ示シ居ラス從テ先方ノ意圖等未タ必スシモ分明ナラス在留民ノ保護其ノ他緊急措置遂行上不便ヲ感シ居ルモ可能ノ範圍ニ於テ萬全ヲ盡スト共ニ先方ニ對シテハ速ニ責任アル統一措置ノ採ラレンコトヲ要望シ居レリ

支ニ轉電セリ

1164

昭和20年8月22日

在上海土田公使より
重光大東亜大臣宛(電報)

上海の治安状況につき報告

上海 8月22日發

本省 8月25日着

第一二九〇號

一、上海ハ皇軍ノ警備ニ依リ概シテ平靜ナルモ兩三日來邦人工場ノ整理、物資ノ移動ニ伴ヒ群衆行動誘發ノ傾向アリ之ニ對シテハ兵力ノ増強等ニ依リ鎮壓ニ努メツツアルモ樂觀ヲ許サスト認メ嚴戒シ居レリ

二、(一)英米煙草ニ於テ二十日臨時賞與ヲ要求條件トスル罷業起リ

(二) 華中水電ニ於テモ二十日同様臨時賞與ヲ要求シテ怠業ニ入りタリ

右ハ何レモ今後共操業繼續セラルヘキ事業場ニシテ何等差當リ生活不安勞働不安ナキニ拘ハラス斯カル事態ノ發生セルハ勤勞休止工場ニ於ケル解雇手當或ハ物資ノ交付アリタルニ刺戟セラレタルモノトモ思料セラルルモ共產系分子ノ策動ニ依ルモノト認メラルル算大ナルヲ以テ警戒中ナリ

尙二件ニ付テハ勞務者側ト賞與額ニ付協定スルト共ニ重慶側ト目セラルル工作人員ヲシテ慰撫ニ努メシメタル結果大體平常ニ復舊操業中ナリ

三、陸軍各部隊ハ本二十二日概ネ對米戰鬪ノ爲ノ進出前ノ場所ニ復歸シタリ

四、二十日以降電燈、電熱、電力(昇降機用用水用ニ限ル)ノ消費制限ヲ緩和シタリ

五、目下上海市内ハ支那各種ノ先遣部隊ト稱スルモノ及從來ノ警察保安隊、警察隊、自警團、保甲等治安維持ノ爲行動シツツアリ夫々武裝シアルヲ以テ之カ動向ニ付テハ監視中ナリ

支へ轉報セリ

1165 昭和20年8月22日 在中国谷大使より
重光大東亜大臣宛(電報)

蕪湖方面での邦人遭難状況について

南京 8月22日発
本省 8月27日着

蕪湖發本使宛第二一號

往電第二〇號ニ關シ

重慶軍ハ孫家埠附近迄進出シ居リ今朝來和平軍ノ一部竝ニ多數ノ苦力等邦人商社及倉庫十數箇所ニ殺到掠奪ヲ恣ニシ事態擴大惡化ノ憂アリ軍ト協議ノ結果婦女子全部十八日發列車ニテ一旦避難セシメ殘留男子ハ警備區域内ニ集結シ軍ト協力シテ警備ニ當ルコトトセルニ付引揚家族千百名ノ收容家屋南總ニテ御斡旋相煩度尙食糧米便船ニテ送付ノ豫定上海、南總へ轉報セリ

1166

昭和20年8月23日
在広東田代(重徳)公使より
重光大東亜大臣宛(電報)

重慶軍先遣隊の広東潜入及び先遣軍司令就任

をめぐる動向について

広東 8月23日発
本省 8月26日着

(大至急)

支宛第七九號

往電第七五號ニ關シ

其ノ後重慶軍先遣隊別働隊續々便衣ヲ以テ市内ニ潜入支那側各機關ニ入り込ムト共ニ軍間ニ傳單ヲ發シ中ニハ八年來日本側ヨリ受ケタル婦女監禁、無辜虐待等人民ノ痛苦ヲ述ヘ煽情的ナルモノモアリ流言横行中ナル處前記別働隊參謀ト稱スル者ハ我南支軍司令部ニ至リ土匪共產軍ノ蠢動ニ備ヘ治安確保ニ當ルノ外他意ナキ旨ヲ述ヘ南支軍ニ於テ廣東ニ於ケル活動ヲ容認セラレ度シト述フル所アリ一方當地南京側海軍要港司令招桂章ハ我方ノ無條件降伏受諾發表セラレルヤ逸早く南支軍司令官ヲ訪問シ重慶側ノ代表者トシテ認メラレ度旨申述ヘ司令官ヨリ輕舉妄動ヲ戒メラレタル經

緯アル處二十二日再ヒ蔣介石ヨリ當地方ノ先遣軍總司令ニ任セラレ居ル趣ヲ以テ其ノ權限行使ノ承認ヲ求メタリ軍ニ於テハ治安狀況ノ推移ニ鑑ミ寧ロ之ヲ責任者タラシムルコト實情ニ即ストノ判斷ノ下ニ本二十三日午前ヨリ其ノ權限ヲ認メ皇軍ト共ニ當面ノ治安維持ニ當ラシムルコトナレリ依テ招ハ省政府ニ廣州先遣軍總司令部籌備處ノ開設南京系各師軍警竝ニ前記別働隊ヲ統轄スルコトナリ市内ニハ財政廳指揮下ニアリタル護沙隊ヲ入市セシメタリ同人ハ當地軍側ニ於テ豫テヨリ重慶工作ニ利用シ居リタル者ナルカ今回ノ措置ト同時ニ同人ハ本年四月以來蔣ノ密令ヲ捧シ居タル旨ヲ語り居レリ
大臣、北京へ轉電セリ
上海へ轉報アリ度

1167

昭和20年8月24日
在厦門永岩總領事より
重光外務大臣宛(電報)

中国側による邦人及び市政府要人への措置について

厦門 8月24日午後1時00分發
本省 9月12日午前11時00分着

第一七二號

往電第一七一號ニ關シ

高大佐ノ館員ニ洩ラシタル中國側ノ對在留民並市政府要人
措置ハ左ノ通御參考迄

一、在留内地人ノ保護ニ關シテハ國際公法ニ準據シテ施行セ
ラルヘキモ萬一接收ニ際シ聯合軍側ニ於テ被害ヲ蒙リタ
ル時ハ何等カノ報復措置ヲ執ラルヘシ

二、臺灣人ニ對シテハ中國人ト同様ノ保護力加ヘラル可キモ
一部惡德者(從來治外法權ノ下ニ在リ賭博ニ關係シ特ニ
權力又ハ武力ヲ以テ中國民衆ニ危害ヲ加ヘタルコトアリ
シ者ヲ指スモノト思料セラル)ハ審問ヲ受クヘシ

三、市政府要人ハ自ラ進ンテ漢奸トナリタルモノナルヲ以テ
嚴罰ハ免レ難キモノノ如シ



1168

昭和20年8月25日 在南京田中(彦藏)総領事より
重光外務大臣宛(電報)

南京周辺地区への共産党軍の進出状況について

南京 8月25日午前11時00分發
本省 9月9日午前9時25分着

第一六三號(至急)

當地周邊地區ニ於テハ今次停戦ヲ機ニ地盤ノ擴大ヲ企圖ス
ル新四軍ノ進出目醒シク今後國共關係ノ摩擦熾烈トナリ隨
所ニ衝突ノ危險ヲ豫想セラルル處概況左ノ通りナリ

一、鎮江

十五日江北ヨリ渡河セル新四軍約一萬ハ江岸附近ニ集結
シ内約二千ハ十九日夜半ヨリ鎮江ヲ襲撃セルモ皇軍警備
隊ノ反撃ニヨリ後退セルカ之ニ脅エタル支那側保安隊巡
警ハ二十日隊長以下全員逃亡セリ同地ハ目下ノ處警備隊
ノ警備ニ依リ表面平穩ナルモ新四軍ハ市内ニ約二千ノ便
衣隊ヲ侵入セシメ居ルヤノ情報モアリ内外呼應シテ同地
ノ奪取ヲ窺ヒ居ルモノノ如ク事態樂觀ヲ許サス

仍テ二十日國民學校ヲ臨時休校セシメタルカ情勢ノ如何
ニ依リテハ在留民一千三百名中婦女子約五百名ハ當地ニ
引揚クルノ他ナキニ至ルヘシ

二、揚州

城内治安ハ皇軍警備隊及孫良誠部隊ニ依リ確保セラレ居

ルモ(皇軍之ヲ支援シアリ)城外北部近郊ニハ相當數ノ新四軍進出シ來リ楊州六關(揚州)江岸間ノ「バス」ハ目下運行停止セラレ居ル一方タイ縣ヲ除キニュー(高郵)方面ノ他奥地物資集買ニ從事中ノ邦人ハ大部分楊州へ一部上海方面へ引揚濟ナリ

三、海南線

新四軍ハ二十日鎮江タンヨ一問沿線ニ於テ二回ニ亘リ鐵道爆破ヲ行ヒ貨車十數輛ヲ顛覆列車運行不能ニ陥レルモ二十三日ヨリ復舊セリ

四、津浦線

浦口浦鎮(後李吉品仙部隊ニ依リ擊退セラル)地區ニハ十七日ヨリ新四軍侵入シ(目下皇軍ノ警備ニ依リ治安保タレ男子ハ重要職員歸任從事中)婦女ヲ引揚ケタルコトハ往電第一六〇號ノ通りナルカ十九日頃ヨリ沿線各地ニ新四軍來襲シ鐵道爆破「レール」枕木ノ奪取又ハ鐵道電話線ノ切斷事件頻發シ列車ノ運行ハ目下停止中ナリ尙淮南線及淮河ノ交通ハ遮斷セラレ淮南炭坑ハ新四軍ノ包圍下ニ孤立セル趣ニテ警備ノ強化、現札ノ供給等軍側ニテ手配中ナリ

支、上大ニ轉電セリ

1169

昭和20年8月27日

在上海豊田総領事より
重光外務大臣宛(電報)

上海の治安状況につき報告

上海 8月27日午後3時30分發
本省 8月28日午前11時45分着

第三五六號

最近ノ當地狀況左ノ通り(八月二十五日)

一、十五日以來陸海軍ハ支那側保安隊ト協力シ警備ニ當リ居ル處目下市中ハ概ネ平穩ナルカ既ニ新四軍ハ相當市中へ潛入シ二十四日徐家匯地區ニ新四軍ノ使囑ニ依リ暴動起リ且ツ浦東始メ上海周邊ハ殆ト新四軍ニ依リ包圍セラレ國共兩軍ノ衝突必至ノ情勢ニアリ
尙眞偽不明ナル重慶側機關多數進出シ二十二日來勝手ニ日本側公共施設、工場、日華共同經營工場商社ヲ封印スルモノアリ狀況注視中ナリ
三、華人側ハ一時興奮行爲アリタルモ重慶側注意竝ニ陸海軍ノ警備ニ依リ漸次平靜ニ歸セリ尤モ軍側ヨリ軍關係商社

又ハ邦人非常用トシテ放出セル物資ノ大量移動分散ハ支那側ニ相當刺戟ヲ與ヘ一部苦力流民等ハ路上又ハ倉庫ニテ之ヲ奪取スルモノアリ尙重慶側ハ右軍側放出物資ノ收買者乃至日本側トノ共同經營華人ヲ通敵者トシテ拉擧スヘシトノ報アリ此ノ種關係華人ハ相當畏怖シアリ

邦人側ハ軍側ヨリ供給セラレタル食米(一人四〇「キロ」)其ノ他生必需品ノ配給ヲ受ケ且我軍ノ警備持續ニ依リ目下動搖ノ色ナク冷靜ヲ保チ居ルモ武裝解除後ニ於ケル壓迫乃至重慶側トノ協定内容(特ニ居住營業ノ自由ト會社乃至個人財産ノ押收ニ關シ)ノ如何乃至治外法權ナキ後ニ於ケル華人側トノ自由競争等ヲ懸念シ去就ニ迷ヒ居ルモノアリ商社筋ハ大體最悪ノ事態ヲ豫想シ華人ヘノ名義替又ハ共同經營等去就兩面ノ準備ヲナシツツアリ

朝鮮人側ハ發起人九名ヲ以テ孫田ヨリ二億元ノ寄附ヲ受ケ十七日朝鮮人會民團ヲ組織スルト共二十九日舊儲備銀行ニ階ニ朝鮮降服軍特攻隊(隊長キンキセウ、隊員青年約二百名)ヲ結成シキン隊長主催スル大韓國臨時政府ノ活動旺盛ナリ

臺灣人ハ臺灣ノ支那歸屬ニ殆ト反對シ日本國籍ノ維持ヲ

切望シアリ

三、和平ニ依リ先安見透ト軍用資金ノ放出收縮軍用物資(米、麥粉、石鹼等)ノ庫出等ニ依リ金條二千萬元、米五〇萬元ト一部下降ノ兆ヲ示メセルカ野菜、魚肉等副食物、奢侈品裝飾品ハ依然強氣ニシテ二十日以降物價ハ再ヒ一齊ニ反騰ヲ示シ金條八千萬元、米九十萬元ヲ唱ヘアリ

四、海關職員ハ八月十五日附ヲ以テ九月一日以降退職ヲ命セラレ一ヶ月分ノ退職金ヲ支給セラレ市政府警察局職員ハ八月十五日附ヲ以テ署長、諮議ニ任セララル等實務ヨリ離レルニ至リタルカ月末ヲ以テ退職トナル趣(退職金ハ三ヶ月分ヲ豫定セラレアル由)

華中鐵道其ノ他國策會社職員ハ重慶側ヨリ暫時現職ニ止マル様指令セラレ公共事業ハ從來通り運營セラレアリ
支ニ轉電、上海ニ轉報セリ

1170

昭和20年8月28日

在厦門永岩總領事より
重光外務大臣宛(電報)

厦門における終戦措置状況につき報告

第一七五號(大至急)

往電第一七三號ニ關シ

廈門 8月28日後1時00分發
本省 9月12日前7時00分着

一、二十六日福建省保安縱隊司令部參謀來訪シ同隊ハ顧祝同ノ麾下ニ屬シ司令嚴澤元中將カ廈門金門接收ノ責任者ニシテ本人ハ同司令ノ命ニ依リ非公式ニ連絡ニ來タレル旨語リタルカ從來當方ト連絡ヲ保チ來タレルハ中米合作處閩南區部隊ナルヲ以テ其ノ關係ニ付説明ヲ求メタル處何等關係ナク米人部隊モ又接收ニ關係無キ旨回答セリ

二、然ルニ同日黃大佐(前電所報)非公式ニ來訪セルヲ以テ其ノ間ノ事情ヲ質シタル處嚴司令カ折衝ニ當ルハ事實ナルカ最近ノ訓電ニ依レハ中米部隊ハ嚴司令ニ協力スルモノトナレル趣ナリ

三、保安隊ハ福建各地ヨリ徵募セル兵士ヲ以テ組織セラレ(幹部ハ概ネ北方人)前記中米合作部隊ニ比スレハ軍紀、訓練共ニ劣惡ニシテ保安並ニ在留邦人ノ生命財產保護ニ萬全ヲ期シ得サルヘク廈門接收ハ當方トノ連絡未濟ニシテ南福建出身ノ幹部及兵士ヲ多數擁スル中米部隊カ保安

隊ト協力スル必要大ナルモノアリ現地ニ於テモ其ノ必要性ヲ説キ折角努力中ニテ中央ニ於テモ何等カノ機會ニ此ノ旨先方ニ御折衝請フ

四、當地民情其ノ後平穩ナリ

支、廣東ヘ轉電セリ



1171 昭和20年8月29日

在上海土田公使より
重光外務大臣宛(電報)

英米総領事等の上海帰還に関する情報

上海 8月29日前9時00分發
本省 8月30日前10時45分着

第三八號

二十六日瑞西總領事館館員カ當館職員ニ漏ラシタル所ニ依レハ英國ノ「トーマス」及米國ノ「ホール」各上海總領事ハ何レモ戰前ノ館員等ト共ニ近ク上海ニ乗込ムヘク目下重慶又ハ多分昆明ニ待機中ニテ當地方面ノ終戰委員會構成ニ關スル英米ト重慶トノ内輪ノ關係ハ必スシモ審カナラサルモ右「トーマス」及「ホール」ハ其ノ聯合國側ノ委員トナル模様ナリ

上海ノ租界復活論乃至國際都市上海ノ國際的管理ハ實際上當然ナリトノ意向當地外人筋間ニ存スル次第ニモアリ右聞込ノ儘何等御參考迄
北京、支へ轉電セリ

1172

昭和20年8月31日 在南京田中總領事より
重光外務大臣宛(電報)

蘇州北部における治安状況につき報告

南京 8月31日發
本省 9月10日着

第九號

一、蘇北奧地ニ於ケル治安惡化ノ惧アルニ鑑ミ各地在留邦人(約四百名)ハ本月末頃迄ニ大體楊州へ引揚ケシムル豫定ニテ既ニ引揚ケ來タレル者ノ大半ハ上海、廣東、南京方面ニ疎開セリ
二、各地在留邦人カ當分ノ間楊州ニ集結スルニ足ル宿舍、米糧及資金ハ大體確保シ居レリ
三、日本側關係機關竝ニ支那側(孫良誠部隊)ニ對シ緊密連絡ヲ保チ特ニ孫良誠部隊ニ對シテハ本官キョーノ參謀長谷

中將ヲ訪問シ事態急變ノ挨拶竝ニ今後ノ在留邦人保護ニ關シ篤ト依頼セル處同參謀長ハ孫司令ノ嚴命モアリ絶對ニ保障スル旨繰返シ述へ居リタリ

四、目下ノ處事態急變ノ動搖ナク一般ニ落着キ初メタル模様ナリ

本電別電ト共ニ漢口、上海(大)へ轉報セリ

(見当ラズ)

(電)

1173

昭和20年9月5日 在広東田代公使より
重光外務大臣宛(電報)

華南在留邦人の早期引揚につき意見具申

広東 9月5日後6時00分發
本省 9月6日後11時00分着

第八號(大至急)
貴電合第七〇七號ニ關シ
南支方面在留邦人ハ主トシテ軍ニ附隨シテ俄ニ進出シタル者ノミニテ居住家屋竝ニ店舗ノ大部分ハ何レモ不在家主ノ家屋ヲ利用シ居タル爲戰爭終結ト共ニ家主歸來シ明渡ヲ要求セラレ居リ一方營業上ノ地盤アル者モ少キ爲一部ノ臺灣籍民ヲ除イテハ定着ハ殆ト不可能ニシテ其ノ全部カ徒食シ

配船ヲ俟ツヨリ外ニ手段無く且ツ集團生活ヲ爲ス適當ノ家屋モ獲得困難ニシテ配船遅ルル場合ハ實ニ悲惨ナル羽目ニ陥ルヘク憂慮ニ堪エサルニ付テハ極力配船方御高配相仰度尙當館管下汕頭、廈門、海口、廣東地區ニハ臺灣籍民竝ニ臺灣ニ本據ヲ有スル内地人多ク臺灣向引揚ノ爲ノ配船モ是非共御配慮相煩度

支、汕頭、廈門、海口へ轉電セリ

1174

昭和20年9月7日 在廈門永岩総領事より
重光外務大臣宛(電報)

廈門での終戦措置に関する中国側動向及び在留邦人への措置について

厦門 9月7日午後4時00分発
本省 9月10日午後10時10分着

第一七八號(緊急)

一、其ノ後日華現地軍ノ間ニテ非公式折衝ヲ重ネタル結果厦門地區折衝ヲ擔當セル福建省保安縱隊ハ近ク厦門市ニ前進指揮處ヲ設ケ我方トノ接收事務連絡ニ當ラシムルコトトナレルカ軍隊ノ進駐ハ南京停戦協定ノ調印後更ニ正式

ニ折衝ノ上逐次實施セラルルコトトナル模様ナリ尙重慶側トシテハ先ツ鼓浪嶼及金門島ニ小部隊ヲ入レ度キ意嚮ノ如ク我方モ之ニ同意ヲ表シアリ

二、當地區一般民情ハ其ノ後概ネ平靜ヲ保チ居リ日華双方共圓滑平穩ナル接收ノ行ハルルコトヲ熱望シアルモ大陸方面ヨリ潜入セル不逞分子ノ蠢動漸ク活潑化セントスル傾向アリ當館ニ於テモ軍ト協力嚴戒中ナリ

三、在留邦人ノ生命財産ニ關シテハ數次ニ巨ル非公式折衝ニ於テ小官ヨリ當面ノ相手方タル保安縱隊司令ゲンタクゲ(嚴電九)ン中將竝ニ接收協力ノ立場ニアル中米合作處責任者ニ對シ之カ保護ノ萬全ヲ期セラレタキ旨申入レ置キタルカ皇軍武裝解除ノ前後ニハ相當ノ治安悪化ヲ豫想セラルルニ付居留民ノ自警ヲ趣旨トスル職場集團生活ヲ獎勵スルト共ニ萬一ノ場合ヲ考慮シ何時ニテモ老幼婦女子ヲ安全地點ニ集シ得ル様準備ヲ進メツツアリ

四、現在我方ニ確保シアル食糧在庫量竝ニ一般經濟力ヨリ見テ向後在留邦人ノ自活可能限度ハ四個月程度ト思料セラレ一部残留可能ノ者ヲ除キ成ル可ク速ニ内地又ハ臺灣ヘ送還スルノ要アリト認メララルルニ付配船其ノ他何分ノ御

高配ヲ請フ要引揚者ノ概數ハ内地向老幼婦女子四〇〇名
其ノ他四五〇名計八五〇名臺灣向老幼婦女子四〇〇〇名
其ノ他一四〇〇名計五四〇〇名

吾當館廳舎ハ舊敵産ニ屬シ接收ト同時ニ明渡ヲ要求セララル
ルコトアルヘキヲ豫想シ既ニ機密文書ヲ燒却何時ニテモ
鼓浪嶼官邸ヘ事務所ヲ移シ得ル様手配濟ナリ
支、上海ニ轉電セリ

1175

昭和20年9月9日 在杭州本野(亨三)総領事より
重光外務大臣宛(電報)

杭州方面の治安や在留邦人の状況につき報告

付記 昭和二十年九月十日発在上海土田公使より重

光外務大臣宛電報第八九号

中国での降伏文書調印までの上海の状況について

杭州 9月9日午後1時00分発
本省 9月12日前9時10分着

本官發在支大使宛電報

第一三號

貴電合第一七五號ニ關シ

一、治安

(一) 杭州八月十七日以降中共軍其ノ他ノ雜軍侵入シ不法行
爲ヲ敢行シ無賴漢匪賊ノ跳梁ト共ニ城内治安ハ一時惡
化ノ徴アリタルモ同二十四日雜軍ヲ城外ニ立退カシメ
皇軍將兵警備配置以來小康ヲ得ツツアリ現在迄ニ判明
セル邦人被害ハ金品掠奪一四、家宅侵入二ナルモ未届
ケ被害多數ノ見込ミ

(二) 湖州、秋浦ニ於ケル新四軍勢力強大ニシテ城内進入ノ
企圖濃厚ナリ邦人ハ廣德、安吉方面ノ引揚者ト共ニ杭
州へ集結中被害狀況不詳

(三) 松江、新四軍ノ浙東遊擊縱隊及中共軍ノ城内進入ヲ企
圖シ包圍體勢ニ在リ邦人ハ早急杭州へ集結セリ

(四) 臨浦鎮ハ雜軍ノ城内進入ニ依リ邦人側被害金品掠奪三
五キヨウユーキ、雜軍ノ城内進入ハ住民ノ對邦人態度惡
化ニ依リ治安状態極メテ惡シ邦人側被害金品掠奪三邦
人ハ何レモ他地區へ避難完了セリ

(五) 嘉興、雜軍ノ城内侵入皇軍主力ノ轉駐ニ依リ住民治安
頓ニ惡化シ邦人ノ大分ハ既ニ上海へ引揚ヲ了セリ

ニ交通、海杭線ハ八月十六日及十八日臨平許村間ニ於テ浙

贛線ハ八月十九日臨浦鎮ニ於テ夫々爆破事故アリタルモ其ノ後順調ニ運行シツツアリ華人従業員間ニハ稍怠業氣分アルモ現在七%ノ出勤率ナリ

三、通信平常通り

四、邦人生計狀況

現在迄特ニ困窮セルモノ無キ模様ニシテ日本持歸リ品ニ付テモ居留民ノ殆ント全部其ノ手續ヲ了シタル狀況ナルモ放送局税關派遣教員等中國側機關ニ奉職セルモノハ八月以後失業シ居リ又商社筋ノ閉業ニ伴ヒ失業者續出スヘク從テ今後要救濟者多數ノ出現ヲ豫想セラルヲ以テ其ノ對策考究中ナリ

大臣へ轉電セリ

(付記)

上海 9月10日前9時30分發
本省 9月10日後2時55分着

第八九號

當方面最近狀況大要一括左ノ通爲念

一、軍事方面

當初重慶側ハ周佛海、任援道、丁默邨等ヲ中心トスル舊國民政府武力ヲ以テ日本軍ト共ニ當方面ノ治安維持、共產黨ノ策動抑壓ニ當ラシムル方針ヲ採リ其ノ間速ニ中央直系軍ヲ當地ニ空輸シ接收ニ當ラシメントスルカ從來當地ニ於テ地下工作ヲ擔當シ居タル中共軍、第三戰區軍、三青團等重慶側祕密機關ハ一時ニ表面ニ現ハレ無統制ナル活動ヲ開始シ互ニ先ヲ爭ツテ利權ヲ獲得、強制接收等ヲ爲シ一時重慶側機關トシテ看板ヲ掲ケタルモノ三〇ヲ數フルニ至リ治安上憂慮スヘキ狀態ヲ出現セルノミナラス我方ニ對シテモ種々ナル申出ヲ爲シ來リタルカ我方ハ終始正當ナル接收責任者乃至中央大官ノ來着迄ハ治安維持ニ專念スルモ一切ノ接收交渉ニハ應セストノ態度ヲ持シ來レリ其ノ後重慶側モ事態ヲ憂慮シ大體吳紹澍(中央派遣政治、軍事特派員、副市長、黨部主任)及蔣伯誠(軍事委員會委員長蔣介石代表)ニ於テ各師管ヲ統一スルコトトナリ重慶側各機關ノ辦事處ノ設置ヲ見ルニ至レリ其ノ後四日ニハ湯恩伯ノ先遣隊トシテ張雪仲副司令着滬其ノ後憲兵隊各隊モ逐次空輸セラレ七日ニハ湯恩伯自身ノ着滬アリ日本側(浩外委員會)ト折遷ヲ開始スルニ至リ吳

紹澗ハ軍事ノ責任ハ湯恩伯ノ前進指揮處ニ讓リ其ノ事務所ヲ解散シ爾後日本ニ對スル接收交渉ハ漸ク軌道ニ乘リアル感アリ南京ニ於ケル調印(九日)ハ右ニ基キ當方面ノ問題ハ逐次順調ニ進行ヲ見ルモノト認メラル

二、政治方面

今日迄吳紹澗ニ於テ總テノ責任ヲ負ヒ諸般ノ計畫ヲ進メ來リタルカ市政府ハ九日來滬ノ筈ナル錢大鈞市長ノ着任ヲ待ツテ接收ノ運トナル筈ニシテ警備方面ヲ除ク市政府機構ハ九月一日以降停止ノ狀態ナリ其ノ間吳紹澗ハ市黨部主任、政治派員ノ資格ヲ以テ治安ニ直接關係アル公共事業ノ機能維持等ニ力ヲ用ヒ當方ノ要請ニ基キ工人ノ罷業取締布告(華鐵、水電、華中運輸、英米「トラスト」等ノ罷業怠業等各地ニテ起リタルカ何レモ^{(二)笑未也}□方ノ善處及黨部側ノ我力ニ依リ一應事ナキヲ得タリ)竝ニ電力消費取締布告等ノ發出ヲ爲シタルカ日本側ノ物資隱匿盜賣等ニ付テハ相當神經ヲ尖ラシ居ル如ク支那人ニ對スル取締布告ノ發出ヲ爲シ又祕ニ日本商社ノ監視ヲ爲ス等ノ態度ヲ執リツツアリ旁々日本側物資ノ移動等ハ事實上不可能ノ狀態ニアリ

一方邦人側ハ中國側ノ態度不明ナルタメ殘留可能ナリヤ私有財産ノ保存可能ナリヤ等ニ付多大ノ不安ニ驅ラレアル如ク見受ケラル

當方トシテモ極力中國側ノ眞意打診ニ努メツツアルモ未タ明確トナラス支那側中堅層ニ於テハ始ヨリ相當強キ意見アル如ク一般ノ動ハ蔣介石ノ聲明等ニ拘ラス日ト共ニ寧ロ漸次硬化シツツアルヤニ觀察セラル

支、北京ニ轉電セリ